

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)サンクレイドル小田急相模原 新築工事	階数	地上15階、地下0階
建設地	神奈川県座間市相模が丘5丁目922-1他	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、第一種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	126 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年5月 予定	評価の実施日	2024年3月25日
敷地面積	1,448 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 建正設計 一級建築士事務所
建築面積	381 m <sup>2</sup>	確認日	2024年3月25日
延床面積	3,838 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社 建正設計 一級建築士事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.5

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.1

**LR のスコア = 3.0**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合	住戸の外皮性能は断熱性・遮音性に優れた計画とし、また化学汚染物質の抑制等に配慮した計画とすることで、住みやすい生活環境の実現に配慮している。	その他 特になし
Q1 室内環境	開口部には遮音性能がT-2のものを採用している。全ての住戸において断熱性能等級4相当である。建材にはF☆☆☆☆製品ほぼ全面的に採用している。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー	全ての住戸において断熱性能等級4相当である。BEI=0.98	LR3 敷地外環境 「光害対策ガイドライン」のチェックリストの項目の一部を満たしており、また広告物照明を行っていない。
Q2 サービス性能	空調・給排水配管の更新に配慮した計画としている。	
LR2 資源・マテリアル	GL工法を採用し、断熱材には吹付材を使用している。間仕切壁にLGS下地を使用している。躯体への打込配管を行っていない。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される